

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

<b>事業名</b>	審査事務の機械化に要する経費			<b>担当部局庁</b>	保険局	<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成元年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	平成26年度	<b>担当課室</b>	総務課社会保険審査調整室	山田 航		
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること			
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、通知等</b>	-			
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	社会保険審査会は、社会保険各法(健康保険法、船員保険法、厚生年金保険法、国民年金保険法等)に関する処分の変更請求等に係る裁判機関であり、その事務局である社会保険審査調整室は、再審査請求等事件の審理資料を印刷機による印刷を行い、事務処理の効率的、効果的な遂行を図っている。							
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	再審査請求等事件の印刷機による審理資料の作成							
<b>実施方法</b>	委託・請負							
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	3	4	3	0	0	
	執行額	3	3	2				
	執行率(%)	100%	74%	67%				
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	再審査請求の処理件数	再審査請求等事件の印刷機による審理資料の作成により、事務処理の効率的・効果的な遂行を図る。	成果実績	件	2,312	1,987	2,003	
			目標値	件	1,200	1,200	2,000	-
			達成度	%	100%	100%	100%	
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	再審査請求の処理件数	活動実績	件	2,312	1,987	2,003		
		当初見込み	件	1,200	1,200	2,000	-	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	X:執行額 Y:処理件数	単位当たりコスト	(円/件)	1,237	1,490	1,488	-	
		計算式	X/Y	2,859,961/2,312	2,960,109/1,987	2,981,000/2,003	-	
<b>平成27-28年度予算内訳(単位:百万円)</b>	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
		-	-					
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	再審査請求等は年々増加傾向にあり、国民のニーズがあり、また健康保険等の処分に関する不服申立制度の第二次審査機関である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	健康保険等の処分に関する不服申立制度の第二次審査機関であり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	健康保険等の処分に関する不服申立制度であり、行政の最終判断となる事業を担っている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	競争性を確保するため契約方法等の見直しをする。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	審査資料として必要数を印刷する上で平準的である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的のみの使途であり、必要なものに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	審査資料を効率的に印刷している上での不用である。	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	審査資料を効率的に印刷している。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	処理件数が見込みを上回っており、効果的な手段となっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	平成26年度において、見込みを上回る活動実績であった。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	-	
点検・改善結果	点検結果	平成26年度は(再)審査請求受付件数2,163件に対して、2,003件の裁決等を行っており、目的に沿った予算を執行している。			
	改善の方向性	毎年度、見込を上回る活動実績である。対象機器の保守等について検討し、平成26年度で事業は終了となった。			
外部有識者の所見					
今後とも適切な予算要求と執行に努めること。(井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	278	平成23年度	248	平成24年度	214
平成25年度	247	平成26年度	259		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

(印刷機による審査資料印刷)

厚生労働省



【委託・随意契約】

A.理想科学工業(株)  
2百万円

(印刷機の保守)

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.理想科学工業(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
保守費	印刷機の保守	2.1			
計		2.1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	理想科学工業(株)	再審査請求等事件の審理資料作成用印刷機の保守業務	2.1	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					